

令和7年度日本大学生産工学部土木工学科 総合型選抜第1期 課題

注意事項

1. 課題はプレゼンテーションです。
2. 下記内容に従ってプレゼンテーション動画を作成・提出してください。
3. 本用紙の返送は不要です。

課題

【課題】

テーマ: 社会における土木の役割

土木工学は、道路、鉄道、空港、港湾、河川、ライフラインなど、「社会インフラ」と呼ばれる施設、構造物のデザイン(計画・設計)およびマネジメント(施工、維持管理)を担い、バクテリアからロボット、AIまで、あらゆる最先端技術を駆使して人々の安全と快適を実現する『総合工学』です。

さて、近年、社会構造や自然環境、生活様式などの変化に伴って、土木技術者の活躍が求められる範囲は益々多角化し、拡大しています。例えば、当学科の履修モデルである都市・地域、環境・景観のデザイン、防災・減災、社会基盤のマネジメントを基軸として、「人口減少や少子高齢化に適応した快適なまちづくり」「気候変動や自然災害に対応した強靱なまちづくり」「自然環境や景観に調和した美しいまちづくり」、さらに「都市機能の維持再生や国際協力・支援」など、未来のまちづくりを通じた社会貢献が期待されています。

そこで、これまでの様々な学びや経験、探求学習等の成果を活かし、以下(1)～(4)のいずれかの視点からあなたが関心を抱く社会課題を1つ挙げ、その解決に向け、これからの土木(構造物、技術者など)に求められる機能や性能、知識や能力などを自由に展望し、提案してください。

- | | |
|----------------|-------------------------------|
| (1) 都市・地域デザイン | (まちづくり・都市計画、スマートシティ、地方創生など) |
| (2) 環境・景観デザイン | (環境・景観保全、グリーンインフラ、資源循環など) |
| (3) 自然災害マネジメント | (防災・減災、強靱化プロジェクト、復旧・復興計画など) |
| (4) 社会基盤マネジメント | (社会基盤整備、IT・AI活用、インフラメンテナンスなど) |

※課題と展望・提案に関して、5分以内のプレゼンテーション動画で作成・提出してください。

※探究活動等を通じて作成した資料のコピーまたはその概要を補足資料として添付することができます。

(補足資料は 課題や口頭試問の参考であり、その有無が評価に影響しません。)

※当学科ホームページの「高校生応援特設ページ」「あれもドボク、これもドボク」が参考となります。

本課題の公開から出願までの期間(7月12日(金)～10月10日(木))では、下記の【問い合わせ先】において出願や課題に関する疑問・質問等に対応していますので、不明な点、不安な点などあれば気軽にご相談ください。また、課題の資料や動画に関して、上記期間中、評価基準に沿って「プレ評価」と「アドバイス」(課題フォローアップ期間:8月20日(火)～9月20日(金))をさせていただきます。上記テーマに関する現状と課題は、オープンキャンパスの模擬授業において講義しています。課題への「プレ評価」と「アドバイス」の方法に関する詳細および講義動画は土木工学科のホームページで公開していますので参考としてください。(土木工学科ホームページ: <http://www.civil.cit.nihon-u.ac.jp/>)

【動画の内容】

以下の内容構成により、5分以内のプレゼンテーション動画を作成してください。

1. 出身高校名と志願者氏名
2. 最も興味深いテーマ(社会課題)の選定理由とその概要(どうして?、どんな課題?)
3. 着目した社会課題の解決に向けて「土木」に求められる役割や性能・機能・技能(どうすれば?)
4. 提案した課題解決策に対して自分はどのように取り組みますか(将来の在りたい姿)

【動画の作成・提出方法】

- ① スマートフォンやビデオカメラなどでプレゼンテーション動画を撮影してください。
- ② 撮影した動画をUSB に保存し、USBの表面に志願者氏名を記入してください。
- ③ 出願書類にUSBを同封して郵送により、提出してください。

(注意事項)

- ・動画の再生時間は全体で5分以内としてください。
- ・スライドやフリップなどの使用、映像や音声の編集などに制限はありません。
- ・パソコンで映像、音声とも再生されることを提出前に確認してください。
- ・提出されたUSBは試験資料として保管するため返却しません。

【問い合わせ先】

ご質問がございましたら下記アドレスまでお問い合わせください。

cit.civil-sogo@nihon-u.ac.jp (土木工学科総合型選抜質問・相談窓口)